

モニタリング結果報告書（平成25年度上半期）（改正案）

施設	あいかわ公園
指定管理者	公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

A

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営等の状況 > あいかわ公園は、宮ヶ瀬ダム左岸に位置し、約4万本のつつじが咲く「花の斜面」、ふわふわドームやじゃぶじゃぶ池のある「子供広場」、アスレチック遊具のある「冒険の森」、愛川町の伝統工芸である機織り、紙漉き、木工などを体験出来る「工芸工房村」が人気の施設である。 特に、「利用促進方策」に力を入れており、つつじ祭り、七夕、みやがせフェスタ夏の陣、ミニ牧場、新鮮朝市、スタンプラリーなど魅力あふれるイベントを多く催している。 また、工芸工房村では、魅力ある体験メニューを充実させることで、体験者が伸びており、多くの小学校に活用されている。紙漉きはコウゾを原料とし、木工は公園の伐採木を利用しており、この公園独自の工夫をしている。</p> <p>< 2 収支状況 > 幼児から利用できる遊具の行き届いた安全管理が、若い家族連れのリピーターを増加させており、積極的な修繕及び備品更新により利用者サービスの向上に努めている。徹底した節電の実施による経費の節減等に努めており、対前年度比で支出額を6.6%上回ったものの、対収支計画比で収支差額を3.9%に留めており、上記取組みを実施しつつも良好な収支状況である。</p> <p>< 3 利用状況 > < 4 利用者の満足度 > 指定管理者は、施設の魅力向上のため、提案に基づいて植物管理や施設管理を精力的に行っており、魅力的な運営を行っているため、利用者の満足度(上位2段階の割合)が97%と高く、今期は利用者数が前年対比で13.6%増加した。</p> <p>< 5 苦情・要望等 > < 6 事故・不祥事等 > 以上のように利用者の視点に立った、提案を上回る優れた取組みを実施し、広報活動にも積極的に取り組むことにより公園の魅力向上が図られており、苦情の対応状況も良好であることから評価できる。</p> <p>< 今後の方針等 > 今後は、公園管理の基本となる着実・丁寧な植物管理や施設管理を継続するとともに、利用者のニーズに対応した地域イベントの実施を強化する等、更なる利用者の獲得に努めてもらいたい。</p>
--

1 管理運営等の状況

評価 A

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	植物管理及び環境に配慮した管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者がいつ来園しても気持ちよく過ごせる環境を作ることを目指し、公園のシンボルである「花の斜面」は常にレベルの高い維持管理を行い、花壇は定期的に植栽を変更する工夫をしており、園内の除草も高頻度で行った。 ・プランターの花は、一定期間が経過したものでも廃棄せず、毎月「花の日」のイベント時に利用者へ無料で配布し、環境配慮のアピールと利用者の再訪を促した。 ・植物管理で発生した刈草や剪定枝は堆肥化して公園の植物管理に利用した。 ・事務所等の電球の間引き、緑のカーテンで日陰を作り、中央広場の噴水を止めるなどの節電対策を行った。

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	利用促進方策 ①つつじまつり ②入館者25万人達成イベント ③七夕フェスタ ④みやがせフェスタ夏の陣と半原系の里文化祭	①4月29日(日)、利用者：25,000人 愛川町、指定管理者、国、県、J A、産業商工会等で構成される実行委員会により開催され、出展、演目も多い公園最大のイベントで、盛況だった。 ②4月3日(水)～4月16日(火)、利用者：2,347人 郷土資料館と工芸工房村の入館者数が25万人を達成した記念イベントで、盛況だった。 ③6月22日(日)～7月7日(日)、利用者：6,300人 利用者の書いた短冊で七夕飾りを行い、盛況だった。 ④9月23日(日)、利用者：24,420人 宮ヶ瀬全域と連係し、同時に半原系の里文化祭も開催した夏最大のイベントで、盛況だった。
3 (指定管理業務)	地域や関係機関との連携 ①ミニ牧場 ②新鮮朝市 ③自然体験イベント ④スタンプラリー ⑤お話し会	①毎月1回実施、利用者 計9,100人 隣接する服部牧場と連係し、ホニー羊・仔牛・うさぎ等と触れ合うイベントを開催し、子供に人気であった。 ②7回実施、利用者 計1,252人 地元愛川町半原の農家と連係し、野菜を販売した。 ③3回実施、利用者 計80人 郷土資料館と連係し、体験イベントを実施し好評だった。 ④7月12日～12月31日、 宮ヶ瀬湖、津久井湖、丹沢湖等の58施設と連係したスタンプラリー(水源通行手形)を実施した。 ⑤毎月1回実施、利用者 計52人 地域のボランティア団体と連係し、実施した。
4 (指定管理業務)	利用促進方策 ①工芸工房村の体験メニューの充実、伐採木で工作体験 ②宮ヶ瀬湖周辺3拠点を含めた公園のPR及び公園情報の効果的な提供 ③利用者の満足度を向上させる仕組みづくり ④利用者の再訪(リピーター)を促す	①工芸工房村は、魅力ある体験メニューを充実させており、体験者数が伸び、多くの小学校に活用されている。工作体験は、公園の伐採木を利用している。 ②「宮ヶ瀬湖周辺3エリアマップ」を他の2拠点と共同で制作し、公園情報の提供に努めた。 「水とエネルギー館」を訪れた小中学校へイベント情報を配布した。 ③来園者の要望の多い軽食販売をパークセンターで行い、利用者の利便向上に努めた。 ④工芸工房村利用団体には、ダイレクトメールにより翌年度の事業案内を送付し、リピーターの増加に繋げた。
5 (指定管理業務)	利用者への対応及び公報活動 ①挨拶や声掛けの徹底、接客対応の研修実施 ②ホームページ(HP)の利用と充実 ③散策コースマップや自然観察マップの作成・配布 ④海老名サビシア(SA)でキャンペーン ⑤ヤマビル対策	①職員全員への挨拶や声掛けを徹底し、接客対応については、接客研修を実施している。 ②HPのアクセス解析を行って分かりやすいHPへ改善し、HPでアンケートを実施し有効活用している。 ③散策コースマップや自然観察マップを作成し、常時配布している。 ④9月21・22日、海老名SAで県主催の共同キャンペーン(水源地域交流の里イベント)で、パンフレット等で広報した。 ⑤ヤマビル忌避剤を登山道入口などに配備し、ポスター等で注意喚起を行った。

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考(指導事項等)
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	5月31日	○	○	○	無	
5月	6月10日	6月13日	○	○	○	無	
6月	7月10日	7月26日	○	○	○	無	
7月	8月12日	8月30日	○	○	○	無	
8月	9月10日	9月30日	○	○	○	無	
9月	10月10日	10月24日	○	○	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月の10日まで

2 収支状況

評価 **B**

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
- B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
- C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
- D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)		120,191	0	15,860	136,051	136,051	0	0
年度計画	前年度	114,598	0	29,699	144,297	144,297	0	0
	上半期	52,233		21,539	73,772	73,772		0
	下半期	62,365		8,160	70,525	70,525		0
	今年度	114,826	0	29,524	144,350	144,350	0	0
	上半期	53,000		21,452	74,452	74,452		0
	下半期	61,826		8,072	69,898	69,898		0
上半期実績	4月	10,000		2,794	12,794	14,038		▲ 1,244
	5月	7,000		4,958	11,958	12,028		▲ 70
	6月	11,000		3,366	14,366	13,169		1,197
	7月	9,000		3,725	12,725	11,352		1,373
	8月	6,000		5,521	11,521	13,379		▲ 1,858
	9月	10,000		3,318	13,318	13,384		▲ 66
	上半期合計	53,000	0	23,682	76,682	77,350	0	▲ 668
	対収支計画比	0.0%		10.4%	① 3.0%	② 3.9%	③	▲ 0.9%
参考	前年度 上半期実績合計	52,233		21,539	73,772	72,557		1,215
	対前年度 上半期実績比				3.9%	6.6%		

※その他収入の内容 都市公園の駐車場収入、工芸工房村

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
③ 収支差額のマイナス（上半期収支計画支出額対比）	○	4月や8月の利用者が多く、イベント時に植物管理と施設管理を重点的に実施したため。

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	該当なし
下半期		
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 **A**

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で)

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(入所施設等定員がある場合、定員比で)

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	59,197 人	62,423 人	94.8 %
5月	52,065 人	46,969 人	110.9 %
6月	32,887 人	28,825 人	114.1 %
7月	33,166 人	31,020 人	106.9 %
8月	41,058 人	41,151 人	99.8 %
9月	53,480 人	29,060 人	184.0 %
合計	271,853 人	239,448 人	113.5 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
上半期計	271,853 人	239,448 人	195,000 人	① 139.5 %	② 113.6 %
下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %
合計	271,853 人	239,448 人	195,000 人	39.5 %	13.6 %

※目標値の設定の有無

期間
基準

設定している
半期ごと
過去数年間平均

その他の場合の期間
その他の場合の基準

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	魅力ある公園施設整備を進めたためと、広報の努力が実を結んでいるため。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	○	着実な植物管理と施設管理を行い魅力的な公園にしたことと、土日祝日の天候にも恵まれたため。

<参考>

施設の最大利用可能人数

	駐車場						合計
定員(1日あたりの延べ人数)	681						681
年間利用可能日数	365						
最大人数	248,565	0	0	0	0	0	248,565
半期	124,283	0	0	0	0	0	124,283

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 **A**

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	62	11	2	1	0	76	73 (97.0%)

※今年度の実施予定

上半期 6 回

下半期 4 回

その他

※配布・回収件数

配布 76 件

回収 76 件

回収率 100.0% %

※実施方法

利用者等に配布

リストから選択

リストから選択

リストから選択

5 苦情・要望等

評価 **A**

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	0	0	0	0	17	17
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備	ふわふわドームにトイレを設置して欲しい。	当所へ要望調整し、現在建設中である。
	公園を禁煙にして欲しい。	看板を設置し、喫煙コーナーを設けた。
職員対応		
事業内容		
その他	軽食コーナーや売店を充実して欲しい。	出店者や関係者と調整し、改善している。

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 **B**

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		